

かなざわ 市議会だより

kanazawa city council

No.287

令和2年(2020年)
5月1日発行



新たに完成した金沢市第二本庁舎（令和2年5月より供用開始）
上：外観 左下：第二本庁舎内に整備された危機管理センター 右下：エントランスホール

3月24日に「新型コロナウイルス感染症防止対策と地域経済への緊急対策に係る追加補正予算」の議案が提案され、5人の議員が質疑を行いました。

質疑の内容は、P.20からの「本会議の発言から（追加補正）」に掲載しています。

発行／金沢市議会

編集／議会広報委員会

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2392 FAX (076) 260-7190

〈ホームページ〉

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/41004/index.html>

目次

- ・ 3月定例会議の概要等…………… P.2～P.3
- ・ 本会議の発言から…………… P.4～P.15
- ・ 常任委員会連合審査会…………… P.16～P.19
- ・ 本会議の発言から（追加補正） P.20～P.22
- ・ 常任委員会の活動状況…………… P.23
- ・ 審議結果、議員別賛否一覧……… P.24～P.27
- ・ 常任委員会の要望事項…………… P.28～P.29
- ・ 委員会の構成…………… P.30
- ・ 都市間交流について…………… P.31
- ・ 議会日誌、6月定例会議の日程 …… P.32

令和元年度 金沢市議会 3月定例会月議会の概要

令和元年度金沢市議会3月定例会月議会が、3月3日から24日までの22日間開催されました。

◇3月 3日 議案上程・提案理由説明

高誠副議長の辞職に伴い、副議長選挙が行われ、新たに喜多浩一副議長が選出されました。また、議員提出の議会議案「新型コロナウイルス感染症対策のさらなる強化を求める意見書」が全会一致で可決されました。その後、山野市長から令和2年度予算案のほか、「金沢市旅館業法施行条例」の一部改正などが提案され、市政に対する所信とともに、提案理由の説明が行われました。

◎副議長選挙の結果

喜多 浩一 議員 35票 広田 美代 議員 3票

◇3月11日～13日 質疑・一般質問

11日の本会議では5人の議員が代表質問を行いました。12日及び13日には、12人の議員が質疑や一般質問を行いました。

◇3月16日 委員会審査

令和元年度補正予算関係議案等の審査を行うため、常任委員会が開催されました。

◇3月17日 補正関係討論・採決、委員会審査

令和元年度補正予算関係議案の採決が行われ、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。その後、令和2年度予算関係議案の審査を行うため、常任委員会が開催されました。

◇3月19日 常任委員会連合審査会

常任委員会による連合審査会が開催され、令和2年度予算関係議案の質疑が行われました。

◇3月23日 委員会審査(総括質疑・討論・採決)

令和2年度予算関係議案等の審査を行うため、常任委員会が開催されました。

◇3月24日 議案上程・提案理由説明・質疑・委員会審査・委員長報告・討論・採決

山野市長から、新型コロナウイルス感染症防止対策と地域経済への緊急対策に係る経費5億1,000万円の追加補正予算の議案が提案され、提案理由の説明が行われた後、5人の議員が質疑を行いました。また、追加補正予算の議案の審査を行うため、常任委員会が開催されました。その後、討論・採決が行われ、追加補正予算の議案は全会一致をもって可決されました。

次に、令和2年度予算関係議案に関する各常任委員会の委員長報告の後、討論・採決が行われ、この日追加提案された人事案件を含め、市長提出の議案各件は、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。議員提出の議会議案8件は5件が可決、3件が否決され、請願2件は1件が採択、1件が不採択となり、陳情2件はいずれも不採択となりました。

また、松村理治議長の辞職に伴い、議長選挙が行われ、新たに野本正人議長が選出されました。なお、各常任委員会と議会運営委員会の改組が行われるとともに、3特別委員会が設置されました。

◎議長選挙の結果

野本 正人 議員 25票 森尾 嘉昭 議員 3票
無効 10票

市長の施政方針(要旨)

◇元気で活力あふれるまちづくり

進化するテクノロジーに対応できる技術力と創造力を備えた若者を育成するため、価値創造拠点の明年春の開設を目指す。また、新しい交通システムの導入機種の選定に向けて、停留所や車両基地、概算事業費等の検討を進める。

◇伝統と創造で発展するまちづくり

金沢歌劇座の建て替えについては、あり方検討会の取りまとめを受け、本市の芸術文化の拠点として求められる機能を満たすための技術的な検討に入る。

◇子供を守り健やかに育むまちづくり

放課後児童クラブについては、職員の安定的な

確保に向けて処遇の改善を図るとともに、利用児童の増加に伴う新たな児童クラブの設置に対応するため、施設整備に係る助成限度額を拡大する。

◇誰もが安心して暮らせるまちづくり

市民の健康づくりと介護予防の拠点である泉野福祉健康センターの改築工事に着手し、令和4年度のリニューアルを目指す。

◇市民と共に進めるまちづくり

個人番号カード交付窓口の拡大や、おくやみ手続案内窓口の設置、コンビニエンスストア等での証明書交付手数料の引下げなど、各種手続の利便性の向上に努めていく。

令和2年度 金沢市予算概要

	令和2年度	令和元年度	増減率
一般会計	1,741億5,000万円	1,721億円	1.2%
特別会計 ^(※1)	972億4,240万9千円	955億7,264万9千円	1.7%
企業会計 ^(※2)	629億 901万1千円	626億4,614万8千円	0.4%
合 計	3,343億 142万円	3,303億 1,879万7千円	1.2%

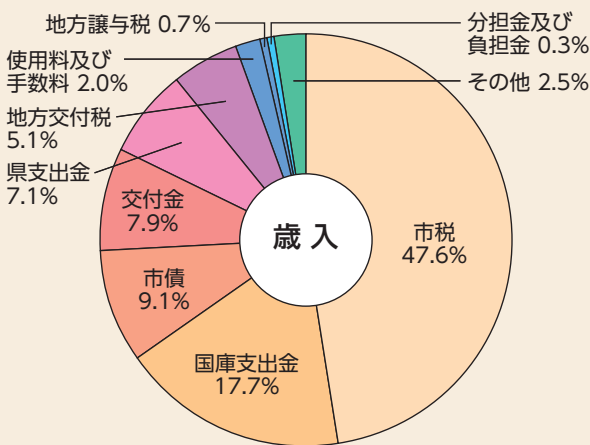
(※1) 国民健康保険費、後期高齢者医療費、介護保険費、市営地方競馬事業費など10会計の合計

(※2) ガス事業、水道事業、病院事業、中央卸売市場事業など8企業会計の合計

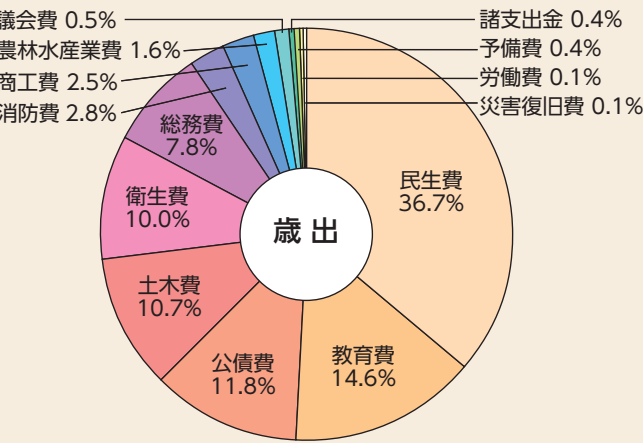
令和2年度当初予算は、地域経済の活性化、スポーツ文化の推進と芸術・文化の継承と発展、子ども施策の充実、安心して暮らせるまちづくり、地域コミュニティの活性化と市民協働・広域連携の推進等を重点にして、「**新しい時代に踏み出し 交流拠点都市づくりを加速する重点戦略予算**」として編成されました。

令和2年度一般会計予算 1,741億5,000万円

歳入	市 税	829億4,799万円
	地方譲与税	12億7,200万円
	交付金	136億5,900万円
	地方交付税	88億円
	分担金及び負担金	6億1,139万2千円
	使用料及び手数料	35億5,115万6千円
	国庫支出金	307億5,084万円
	県支出金	123億1,724万7千円
	市 債	158億6,410万円
	そ の 他	43億7,627万5千円



歳出	議会費	9億1,621万4千円
	総務費	135億9,868万7千円
	民生費	638億7,195万8千円
	衛生費	174億5,355万8千円
	労働費	2億5,770万円
	農林水産業費	27億 33万6千円
	商工費	43億6,865万5千円
	土木費	186億 598万5千円
	消防費	48億9,445万1千円
	教育費	254億1,660万1千円
	災害復旧費	8,921万7千円
	公債費	206億 311万1千円
	諸支出	6億5,352万7千円
	予備費	7億2,000万円





議長就任あいさつ

(第91代議長 野本 正人)
市民福祉の向上と活力あふれるまちを目指し、市民に身近で、信頼できる議会になるよう全力で取り組んでまいります。



副議長就任あいさつ

(第123代副議長 喜多 浩一)
金沢市の発展のため、全力を尽くすとともに、議会の活性化と円滑な運営に努めます。

本会議の傍聴について

本会議は原則として公開されており、どなたでも傍聴できます。なお、全員協議会室において、庁内放送により傍聴いただくこともあります。

また、聴覚に障害のある方のために、手話通訳者の配置またはパソコンによる要約筆記も実施していますが、事前の申し込みが必要です。詳しくは議会事務局（TEL220-2388、FAX260-7190）までお問い合わせください。

本会議の映像は、次の方法でもご覧になれます。

●金沢ケーブル

生中継、本会議翌日の録画再放送（デジタル031Ch・金沢コミュニティチャンネル）

●金沢市議会ホームページ

- ・インターネットでの録画映像の配信

録画映像の配信は、本会議当日からおおむね1週間後になります。

- ・インターネットでの生中継

YouTubeを活用した同時配信を行っています。



議場の様子



本会議の 発言から

3月11日（水）、12日（木）、13日（金）に、17人の議員が質疑や一般質問を行いました。

3月11日（水）

・高村 佳伸 議員（自民党）	P. 5
・中西 利雄 議員（みらい）	P. 6
・澤飯 英樹 議員（金沢保守）	P. 7
・源野 和清 議員（公明党）	P. 8
・広田 美代 議員（日本共産党）	P. 9

3月12日（木）

・野本 正人 議員（自民党）	P.10
・森 一敏 議員（みらい）	P.10
・新谷 博範 議員（金沢保守）	P.11
・上原 慶子 議員（公明党）	P.11
・森尾 嘉昭 議員（日本共産党）	P.12
・玉野 道 議員（創生かなざわ）	P.12
・久保 洋子 議員（自民党）	P.13

3月13日（金）

・小間井 大祐 議員（自民党）	P.13
・麦田 徹 議員（みらい）	P.14
・栗森 慨 議員（金沢保守）	P.14
・熊野 盛夫 議員（創生かなざわ）	P.15
・黒沢 和規 議員（自民党）	P.15

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した原稿をもとにしています。

※会派名は、発言時における所属会派等名を記載しています。



自由民主党金沢市議員会

高村 佳伸 議員 【代表質問】

都ホテルの跡地について

問 金沢駅前の一等地にあった建物が解体されてから１年以上になるが、依然として開発計画は示されず更地の状態が続いている。所有者である近鉄不動産のトップに会い、経済界をはじめとする地元の思いを伝え、一日も早く開発計画を示すよう要請してほしいが、どうか。

答 都ホテルが建っていた場所は来街者が金沢に着いて最初に目にする「金沢の顔」と言うべき場所であることから、開発計画に対する議会や経済界、市民の期待の大きさと、一日も早い開発を望んでいる地元の強い思いを直接伝えたい。
(市長)

都市計画法に基づく高度地区について

問 時代の変化に応じて、高さ制限を見直すべきだと思う一方で、本市の質の高い歴史都市を目指したまちづくりが評価され、現在のにぎわいに結びついている。まずは現状を的確に把握した上で議論すべきだと思うが、どうか。

答 これまで積み重ねてきたまちづくりが国内外から高い評価を得て、今日のにぎわい創出という成果につながっており、長年支えてくれた市民に敬意を表したい。一方で、まちの質をより一層高めていくためには、新しい視点を取り入れ議論していくことも大切であり、まずは現状を十分に分析した上で、専門家の意見も聞きながら検証していきたい。
(市長)

ガス事業・発電事業の事業譲渡について

問 市長は金沢市ガス事業・発電事業あり方検討委員会の答申を受けた上で、様々な意見を聞き、熟慮を重ねたと思うが、どのような理由で事業譲渡すると決断したのか。

答 今後、人口減少等により経営環境がますます厳しくなる中、経営の柔軟性を高め、事業の持続性を確保する必要があることなどの理由により、ガス事業・発電事業は両事業を併せて金沢市内に本社を置く新設の株式会社に譲渡することが、市民サービスの向上に資するものだと思います、決断した。
(市長)

木質都市・金沢の創出について

問 健全な森林は、人類に広く恩恵を与えるものであり、さらに国土の保全や水源木材の活用は地方創生の観点からも注目されている。今後、木質都市を目指す取組が、金沢産材の利用促進につながることを期待するが、どうか。

答 この取組は、木そのもののよさを感じてもらえ、木材需要の開拓と拡大につながるものであり、地場産材の利用促進に大きく寄与していると考えている。また、地元林業の再生は中山間地の活性化だけでなく、防災にも大きな価値があるため、しっかりと対応していく。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 新年度予算について
- 2 本市のまちづくりについて
- 3 本市のガス事業、発電事業の事業譲渡について
- 4 事業系ごみの減量化・資源化と地域コミュニティの活性化について
- 5 公共交通ネットワークの充実について
- 6 木質都市・金沢の創出について



みらい金沢

中西 利雄 議員 【代表質問】

施設の建て替えについて

問

金沢歌劇座、中央卸売市場、市立病院、市民サッカー場など大規模な施設の建て替え議論が進むことについて、どう考えているのか。

答

高度成長時代に建てられた公共施設の大規模修繕や建て替えがこれから喫緊のテーマになる。常に中長期のビジョンを見据えて、子どもや孫の世代のことも見越した上で、しっかりと取り組んでいきたい。(市長)

企業局の在り方について

問

新年度、「ガス・発電事業譲渡準備室」を設置し、両事業の譲渡について準備を進めていくに当たり、市民への説明をしっかりと行うとともに、本市及び議会の適切な関与が重要と考えるが、具体的なスケジュールについて聞く。

答

スピード感を持って取り組んでいくことが大切であり、そうでなければ都市ガス利用者に対して、不作為の損失を与えることになりかねないと思っている。今後、有識者等から成る金沢市ガス事業・発電事業譲渡先選定委員会(仮称)を組織し、一定期間の料金水準の維持、新会社への出資、職員の派遣等の選定要件に基づき審査を行い、令和2年度中に優先交渉権者を決定していきたい。市民や議会との意見交換が大切であり、関連議案の議決がなされれば、新会社と譲渡契約を正式に締結し、円滑な事業の引継ぎ、市民への周知期間を経て、令和4年4月1日に事業譲渡をしていきたい。(市長)

金沢港について

問

金沢港は、クルーズ船の寄港が多くなり、にぎわいを持たせることも重要だが、土地利用が工業専用地域では整合性がとれていない。市としての基本的な考え方とともに、県とどのように協議しているのか聞く。

答

金沢港のにぎわいは、本市にとっても重要な課題であり、まずは港湾計画を踏まえ、港としての特性を生かした将来の土地利用方針を明確にする必要がある。その上で、県と連携しながら、用途地域にかかわらず港湾管理者が定められる臨港地区の分区指定について、現在、検討を進めている。これらの手法も含め、効果的な方策について県と引き続き協議していく。

(市長)

石川県金沢食肉流通センターについて

問

今後の在り方検討会が設置されたが、県が参加していない。本市の食肉流通センターについてどのように考えているのか。また、県と今後どのように協議していくのか聞く。

答

屠畜頭数が減少し続けている中、施設の経年劣化による修繕費も増大し、さらにCSF(豚熱)の発生により収支がさらに悪化している。経営改善の取組は待ったなし、かつ、重要であることは、県市ともに共通認識であると思っている。抜本的な経営改善策について県市協調し、検討を始めて行くことが肝要であり、引き続き県に参加を呼びかけていく。危機感を共有してよい方向に向かうように協議を進めていきたい。

(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 新年度予算について
- 2 市民の安全・安心について
- 3 市と県の連携について
- 4 たばこについて



金沢保守議員会

澤飯 英樹 議員 【代表質問】

災害やウイルス感染から市民を守る市長の決意

問 東日本大震災から9年が経過したが、自然災害は毎年のように起き、被害も甚大化している。加えて、現在猛威を振るっている新型コロナウイルスの発生や、SARSやMERSといった新たな病気が人類に新たな脅威をもたらしている。自然災害やウイルス感染等の猛威に的確に対応し、市民生活の安全・安心に最善を尽くすとの強い意思を持つことが大切だと思うが、市長の決意を聞く。

答 これまで経験したことがないような規模の災害及び様々な危機管理事案に対して、迅速かつ的確な判断を行うべく、対応マニュアルの再確認や訓練を実施することで、市民の生命、身体、財産を保護する体制をこれまで以上に構築していく。
(市長)

今後のまちづくりについて（日銀跡地と都ホテル跡地）

問 日銀金沢支店跡地について、市はどのように関わっていくのか。また、都ホテル跡地についても、営業を終えてから3年、解体工事が終了してから1年以上になる。市が取得し、緑地や防災広場として整備するのも一案であるが、市長の所見を聞く。

答 日銀跡地については、庁内の関係部局からなるプロジェクトチームにおいて、開発における市の関与の可能性も含めて、どのような活用策があるのか議論していく。都ホテル跡地については、所有者の近鉄不動産社長と近いうちに面会し、経済界や市民の思いを伝えていきたい。
(市長)

道路網の整備について

問 北安江出雲線若宮工区が開通し、残りの出雲工区の早期の開通が待たれるが、進捗状況と今後の事業予定を聞く。また、金沢外環状道路海側幹線4期区間の完成時期が示されたが、進捗状況と今後の事業予定についても聞く。

答 出雲工区については、本年度末には約37%の用地取得を見込んでおり、明年度も引き続き交渉を進めるとともに、国庫補助金等の財源確保に努め、早期完成を目指していく。金沢外環状道路海側幹線4期区間については、令和4年度中の暫定供用を目指しており、本線部の明年度事業着手はうれしく思うとともに、これまで以上に国に対して整備促進を要望していく。
(市長)

災害対応について

問 大規模災害に対応した防災拠点広場の市内での適正配置が必要である。海側幹線西部緑道の大河端町地内で災害に対応した避難所や市民や消防関係者が訓練等に活用できる大規模防災広場の整備を求めるが、市長の所見を聞く。

答 西部緑道については、一時避難場所として、一定の防災機能を備えた整備を行ってきた。大河端町地内についても用地取得の進捗を見極めながら、拠点広場としての機能を含め計画的に議論を進めていく。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 災害やウイルス感染から市民を守る市長の決意
- 2 新年度予算について
- 3 今後のまちづくりについて
- 4 道路網の整備について
- 5 台風19号等の災害対応について
- 6 公金納付のキャッシュレス化について



公明党金沢市議員会

源野 和清 議員 【代表質問】

新型コロナウイルスの対応について

問 国内外からの交流人口が着実に増えてきており、インバウンド対策の強化も図られているが、新型コロナウイルスの影響をどのように捉え、対応するのか。

答 多くの事業者に影響があり、特に観光客の減少、自粛ムードによる会合、外出を抑えるなど、宿泊・飲食業に大きな影響が出ているほか、各種催事・スポーツ大会の中止によりイベント・設営業などにも影響が出ており、国・県の緊急支援策等の内容を踏まえつつ市として必要な対策を講じられるよう速やかに検討していく。
(市長)

市営住宅の入居申込みにおける保証人について

問 国土交通省からの公営住宅の入居に際しでの通知と、民法における債権関係の規定見直しの法律改正を受けての本市の対応を聞く。

答 市営住宅でも今後、連帯保証人の確保が難しくなると認識しており、条例改正案で、やむを得ない場合に連帯保証人を必要としない規定を盛り込み、併せて連帯保証人の県内在住の要件も削除した。
(市長)



市営住宅は住宅に困窮する所得の少ない人向けに、市内に約3,500戸整備されている

自立相談支援事業について

問 国において「就職氷河期世代プログラム」が策定されるなど、社会参画へ向けてより丁寧な支援を必要とする人を対象とした体制強化と支援の充実について、新たに開始されるアウトリーチ等の自立相談支援事業の機能強化について聞く。

答 家庭への訪問相談、関係機関への同行支援を行う訪問相談支援員と、家計面に課題がある人に対して専門的な支援を行う家計改善支援員をそれぞれ1名、金沢自立生活サポートセンターに配置する。生活に困窮している原因が多様化・複雑化していることから相談者に寄り添った丁寧な対応を迅速かつ継続的に実施していくことで、生活困窮者の自立に向けた支援の充実に努める。
(市長)

金沢 SDGs 行動計画について

問 金沢 SDGs について行動計画を通じてどのように取り組んでいくのか、今後の活動方針について聞く。

答 市民全員が参加者であるとの思いから新年度はより多くの市民に参加してもらえるよう、官民連携による推進会議を立ち上げるとともに、社会人や高校生ら担い手の育成、SDGs カフェ等のイベントの開催などに取り組んでいきたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 新年度予算編成について
- 2 まちづくりについて
- 3 ガス事業・発電事業の在り方について
- 4 安心して暮らせるまちづくりについて
- 5 子どもを守り健やかに育むまちづくりについて
- 6 金沢SDGsについて



日本共産党金沢市議員団

広田 美代 議員 【代表質問】

新型コロナウイルス対策について 保健師の増員について

問 保健所の相談窓口には、これまででも多くの相談が寄せられているが、現場の職員の疲弊が心配である。また、本市の保健師数は中核市の中で人口当たりの数が最も少ない状況であり、通常の業務でも目いっぱいな上に、今回のような感染症対応において、本来の力が発揮できるのか。保健師の定数を増やすべきだと考えるが、どうか。

答 保健所内の電話相談については、これまでの職員による対応に加え、新たに委託によるコールセンターを設け、相談体制を強化したところである。保健師の人員配置については、新年度以降の人員計画の中で検討する。（市長）

新型コロナウイルス対策について 緊急補正予算について

問 新型コロナウイルスの感染拡大は、世界にも、そして市内の経済にも大きな影響を与えていることから、中小企業などへの経済支援や、学校の一斉休校に伴う学童保育などへの支援のほか、保健所の相談窓口の充実などのために、緊急に補正予算を組むべきだと考えるが、どうか。

答 緊急の補正予算については同感である。先般、政府において放課後児童クラブや放課後等デイサービスへの支援を含めた緊急対策が決定されたところであり、市として迅速に対応していかなければならないと考えている。また、地域経済の活性化になし得る最善を尽くしたいと考えており、市として必要な対策をできるだけ速やかに取り組んでいきたい。（市長）

新年度予算案について 市民の暮らしや地元企業応援に転換を

問 大手資本誘致と一体となった呼び込み型施策や不要不急の大型建設予算ではなく、地に足のついた予算編成、市民の暮らし、地元企業応援で、市民一人一人が経済力を持って豊かに過ごせる方向に転換すべきではないか。

答 本市の公共事業は、将来に向けたまちの基盤発展、生活に身近な社会資本として整備してきており、地域の活性化や市民生活の向上につながる不可欠な施策だと考えている。一方で、地元の中小企業に対しても、資金繰り円滑化や後継者育成などの支援に取り組んでいるところであり、市としてどちらの施策も均衡を図りながら、積極的に取り組むことが大切だと考えている。（市長）

新年度予算案について 「心身障がい者医療費助成」について

問 県の新年度予算で、65歳以上の「心身障がい者医療費助成」の窓口無料化が打ち出され、10月から実施される予定とのことだが、本市はどのような実施計画を持っているのか。

答 障害のある65歳以上の方への医療費助成の現物給付化については、石川県市長会を通して県に要望してきたところだが、今後、本市としても、県と連携し歩調を合わせながら、導入に向けた準備を進め、しっかりと取り組んでいく。（市長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 2 新年度予算案について
- 3 公的役割の維持について
- 4 ごみ処理、環境施策について



自由民主党金沢市議員会
野本 正人 議員

本市の新しい交通システムについて

問 新年度予算案の金沢型次世代交通サービス推進費の中で MaaS^{*} の調査費が計上されているが、具体的な内容、実施スケジュール及び期待される効果について聞く。

※ MaaS… Mobility as a Service の頭文字
ICT を活用し、複数の交通手段を組み合わせ、一つの交通サービスとして提供するもの

答 専門家を交えた検討会議を開き、移動手段を自由に選択でき、運賃決済や乗換えをスムーズに行える金沢の交通事情にあった交通サービスの方策を取りまとめる。多様な交通手段の確保などにより、市民の公共交通利用促進と利便性の向上につなげたい。 (市長)

本市のスポーツ振興について

問 金沢マラソンではゲストペースランナーと一般ランナーやボランティアが直接交流する機会がほとんどないので、一緒に交流できる場を設けてはどうか。

答 第6回金沢マラソンでは、大会当日の夕方にランナーやボランティアが交流を深めていけるような後夜祭を金沢駅付近で行いたいと考えている。大会に関わった人がマラソンを「する」「支える」だけでなく「語る」場になればよいと思っている。 (市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 本市の新しい交通システムについて
- 2 本市のスポーツ振興について
- 3 金沢都ホテル跡地について



みらい金沢
森 一敏 議員

ガス事業・発電事業の株式会社譲渡の基本方針に関して

問 金沢市の公営企業はシュタットベルケ^{*}だとの専門家の意見があり、公営エネルギーがSDGsの核となって、公営水力発電を持つ稀有な環境未来都市として存在感が高まる。金沢の付加価値を高める資産を失って、もったいなかったと後悔しないために、公聴会など市民と共に考えることを求めるが、市長の所見を聞く。

※シュタットベルケ…電気、ガス、水道等地域に密着したインフラサービスを提供するドイツの公益事業体

答 金沢市が電気を卸す北陸電力は首都圏にも進出し、必ずしも地産地消とは言えない時代になっている。企業局は固定資産税や事業所税も払っていないため、公正な競争が成り立つとは言えず、市民に不作為の損失を与えかねない。信頼性や安全性はガス事業法で担保されており、一定の出資により行政としても関わっていく。 (市長)

宿泊税の検証と見直しについて

問 新型コロナウイルス感染症の拡大による地域経済への深刻な追い打ちにより、地元小規模宿泊事業者の廃業、倒産の連鎖を懸念しており、事業者の犠牲の上に8億2,000万円の宿泊税収入を見込むことはあってはならない。市内宿泊事業者の直面する実態を調査、把握してほしいが、どうか。

答 本市では市内の全宿泊施設を対象とした宿泊客数調査に加え、金沢市観光協会が観光に関わる人たちと毎月意見交換会を行い、動向や取組を把握している。既に新型コロナウイルスの影響への懸念の声を聞いており、幅広い観点から多くの事業者の意見を聴きながら施策に反映していく。 (市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 ガス事業・発電事業の株式会社譲渡の基本方針に関して
- 2 宿泊税の検証と見直しについて
- 3 市民のつぶやきから ヘルプカードの周知啓発を



金沢保守議員会
新谷 博範 議員

市道内私有地収用について

問 今年度末時点での未登記道路解消の進捗状況を聞く。また、新年度予算の中で未登記道路解消に向けて道路整備調査費が計上されているが、新年度の新たな取組を聞く。

答 約2万筆の未登記道路のうち、令和2年2月末時点で約5,200筆を解消している。新年度は最新の所有者を調査しデータ化することにより、より一層、未登記道路解消に役立てていきたい。(土木局長)

中小企業振興条例について

問 金沢市ものづくり基本条例は役割を果たした。新時代の令和では金沢市全体の産業を網羅した中小企業振興条例の研究が必要ではないか。

答 金沢市ものづくり基本条例に基づき、ものづくり産業の振興や中小企業の支援等を推進している。さらに、中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けて、中小企業支援機関や関係団体、学識者から成る懇話会を開催し、様々な方向性について提言をもらった。この方向性に沿ってしっかりと事業に取り組んでいく。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 市道内私有地収用について
- 2 金沢湯涌福光線について
- 3 中小企業振興条例について
- 4 美大の新学部設置について
- 5 木質都市と耐震工事、空き家対策
- 6 石川中央都市圏会議議題について
- 7 北部図書館整備検討会について
- 8 価値創造拠点整備について
- 9 谷口吉郎・吉生記念金沢建築館と歌劇座建て替え答申
- 10 市立病院建て替え答申
- 11 市立病院データ漏えい業者への対応



公明党金沢市議員会
上原 慶子 議員

本市の環境施策について

問 新年度から、漁業者が持ち帰った海洋ごみの処分を市が拡大して支援すると聞いている。今後、漁業者が回収し持ち帰る海洋ごみの量が増えることで予想される新たな課題とその取組について聞く。

答 漁業者によって回収された海洋ごみには様々な素材が混じっており、処分の際の作業負担が増加していると聞いている。新年度より、国の海洋ごみ対策補助制度を活用し、運搬・処分費用のほか、分別等の作業に要する人件費についても支援を拡充し、漁業者の負担軽減と海洋環境の保全に努めていく。(市長)

本市の教育施策について

問 SNS いじめ相談窓口の開設について、教育長の見解を聞く。

答 本市においては、教育プラザでの子ども専用相談ダイヤルや、全国統一の子どもSOS相談テレホンなどの周知に努めているところである。LINEやSTOPitなどのSNSツールを活用した相談体制については、国においても調査研究が始められており、相談しやすい環境の充実を図る上からも、引き続き研究を重ねていく。

(教育長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 本市の環境施策について
- 2 本市の防災対策について
- 3 本市の子育て支援施策について
- 4 本市の医療施策について
- 5 本市の教育施策について



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員

本市ガス・発電事業の民間事業者への譲渡方針について

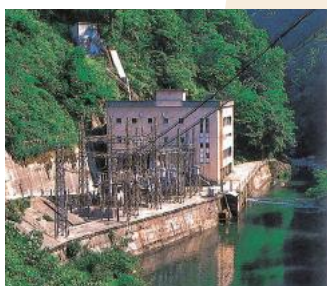
問 企業局は 2016 年に今後 10 年間の経営方針を打ち出し、ガス、水道、公共下水道、発電、工業用水道の 5 つの事業は、引き続き企業局が経営するとしたが、今回、民間事業者へガスと発電事業を譲渡する方針としたのはなぜか。

答 ガス・電気の小売全面自由化により、事業を取り巻く環境が大きく変化してきたことから、検討委員会からの答申を踏まえ、両事業を譲渡する方針を固めたものである。
(公営企業管理者)

発電事業と上寺津発電所のリニューアルについて

問 上寺津発電所のリニューアルは全体計画で 13 億 3,000 万円を投じており、今年度で完了する一方、本市の発電事業の企業債残高はゼロである。このような状況ならば、発電事業を民間に譲渡する必要はないのではないか。

答 発電事業の経営は安定している。電力小売りの地域独占撤廃により、卸供給のみでは地産地消が困難になり、地方公営事業としての役割が希薄化していると指摘されていることから、事業環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できる株式会社に事業譲渡することで、事業の持続性の確保につながると考えている。
(公営企業管理者)



上寺津発電所

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 本市ガス、発電事業について
- 2 歌劇座の建て替えとまちなかでのまちづくりについて
- 3 生活保護行政と資産調査について



創生かなざわ
玉野 道 議員

「価値創造拠点」整備とスマートシティーに関して

問 デジタル文化やコンテンツ文化の創出によるビジネスの拡大や文化・産業振興が期待されるが、新たなジャンルの芸術の創造に向けた支援策について聞く。

答 今年度、最先端テクノロジーと金沢の伝統・学術・文化を学びみらいクリエイター養成塾を開講した。明年度からは、この修了生を対象に地元企業や大学等へのインターンシップを開始するほか、イート金沢においてもクリエイターによる子ども向けワークショップを開催する予定である。こうした取組を価値創造拠点等で進めることにより、自らのアイデアや技能を生かし、映像・音楽・アニメーション等の魅力ある創造的なコンテンツや知的財産を開発できる人材を本市から輩出していきたい。（市長）

国立工芸館の開館と木質都市の創出に関して

問 令和の時代にどのような建築を推し進め、新たなレイヤーを重ねていくのか、木質都市の目指す姿と併せて聞く。

答 私の目指す木質都市の姿とは、市民の DNA にもつながる木にこだわり、建築物はもちろんまちの随所に木が用いられた歴史と調和した、人にも環境にも優しい金沢ならではの都市空間である。これは本市のまちなみに新しい「未来」を加える取組であり、更に厚みのある建築文化の発信が可能になると考えている。（市長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 「価値創造拠点」整備とスマートシティーに関して
- 2 「国立工芸館」の開館と「木質都市」の創出に関して



自由民主党金沢市議員会
久保 洋子 議員

eスポーツ事業推進について

問 eスポーツが果たす地域活性化効果及びeスポーツが持つ現代性に本市が期待することについて、市長の所見を聞く。

答 これまでもイベント等を開催する際には石川県や富山県のeスポーツ団体の力を借りているが、今後は、両県が連携した大会やイベントの実施により広域での地域活性化につながると考えている。また、eスポーツは5G、VR等の最先端技術との親和性が高いことから、技術力や創造力を持った人材や企業の集積が図られることを期待している。なお、eスポーツは今、黎明期といえることから正しい形で認識してもらい、健全な発展に向けて関係機関と連携することによって地域活性化につなげていく。(市長)

医療的ケア児の移動介護支援について

問 新年度における医療的ケア児移動介護支援事業の取組について、通学や車いすが利用可能な車両購入に対しても支援をしてはどうか。

答 ひとり親家庭や障害のある児童が複数の家庭など、保護者等による移動介護が困難な場合には通学支援も対象とする。また、車いす利用者には超低床車両、リフト付車両の購入・改造に市独自で助成している。制度を積極的に周知し、活用してもらうことで、障害のある児童のさらなる社会参加と保護者の負担軽減を図る。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 eスポーツ事業推進について
- 2 健康プラザ大手町再整備について
- 3 高齢者の健康増進事業について
- 4 医療的ケア児の支援について
- 5 妊産婦支援について



自由民主党金沢市議員会
小間井 大祐 議員

新型コロナウイルスの経済支援と風評被害対策

問 地元経済や商業が大変厳しい状況の中、本市特有の観光分野や商店街、中小企業への支援など、基礎自治体として支援すべき対象にきめ細かく対応すべきであり、現行の支援制度の拡充や風評被害対策に積極的に取り組むべきではないか。

答 予備費の適切な活用なども考え、対応可能な財源を捻出し、迅速に執行していく必要があるが、風評被害対策については、速やかで正しい情報発信が基礎自治体として大切だと考えている。今後、状況が落ち着いてきた段階で、積極的な誘客プロモーションに取り組んでいく。(市長)

市民生活に立ち返った市政の優先順位について

問 一人一人の日常の生活に密着した課題から、金沢歌劇座、日本銀行金沢支店跡地、市立病院、中央卸売市場などの大型施設の再整備まで、課題は山積している。次代を担う世代の負担を考え、財源が限られる中で取り組む市政の「優先順位」についての考えを聞く。

答 公共施設の老朽化に伴う再整備が喫緊の課題だが、次の世代へバトンをつないでいくため、優先事業を重点戦略計画に盛り込み、中期財政計画と連動した予算編成や計画的な事業の実施により、健全な行財政運営に努めていく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 新型コロナウイルス COVID-19への対応
市民への情報発信と庁内の情報共有／風評被害対策と宿泊税の活用／市立病院の受入れ態勢
- 2 令和2年度新年度予算について
予算の性格「新しい時代に踏み出す」思い／大型プロジェクトと市政の優先順位／俯瞰して考えるまちなかのまちづくり／公共交通の推進と公共空間の活用／SDGsを通して考える2030年の持続可能な金沢／新たな金沢方式に見る次代の地域コミュニティー／東京パラリンピック2020と福祉のまちづくり／「木質都市・金沢」へ提案



みらい金沢
麦田 徹 議員

第二本庁舎に関して

問

第二本庁舎に危機管理センターが整備されることによって、一昨年の台風のように避難所が開設される場合、どのように対応が変わるのか。

答

避難所開設には、気象など多くの情報が必要になるが、防災情報システムが稼働することによって、危機管理センターへ情報と人員が集約され、災害に対する情報収集や意思決定が迅速に行われることから、市民の安全・安心が格段に向上すると考えている。（危機管理監）

地域コミュニティに関して

問

地域コミュニティを活性化させるために ICT を活用することとしているが、高齢者では苦手な人も多く、地域の担い手から敬遠されることも懸念される。支援の方向が実情とマッチしていないとも感じるが、どうか。

答

情報伝達手段としての ICT の活用は、地域コミュニティにおいても有効な手段であると考えており、積極的に導入している地域もある一方、現行の回覧板もコミュニティツールとして重要である。地域ごとに活動の種類は多々あることから、できる限り個別に対応し、地域と相談しながら効果的な方策を検討していく。（市長）

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 第二本庁舎に関して
- 2 木質都市・金沢創出事業について
- 3 新交通システムに関して
- 4 獣害対策に関して
- 5 海側幹線周辺に関して
- 6 市民の声に関して



金沢保守議員会
栗森 慨 議員

金沢市立病院について

問

次期金沢市立病院の基本概念や特徴についてどう考えているのか。また、病院再整備事業をどのように進めていくのか。さらに、移転となればこの地域の医療施設が希薄になるが、その対応をどのようにしていくのか。

答

名前のとおり市民の病院であることから、結核や感染症などの不採算医療への対応、災害医療や救急医療を担う市南部及び南部近郊地区の急性期病院として公的な役割を果たしていく。また、母子支援や子育て支援事業と連携し整備していく。仮に移転した場合は地域の医療ニーズに対応することが必要であり、既存の東館を活用し、外来診療を継続していくことも検討している。（市長）

観光施策について

問

南町で4月下旬にオープンする金沢中央観光案内所の特色と、新型コロナウイルスの影響により大きく落ち込んでいる観光産業に対し、どのような支援を行っていくのか。

答

窓口には全員外国語対応が可能なスタッフを配置し、外国人を含む来街者へのコンシェルジュ機能を充実させる。また、繁華街に近い立地であり、午後9時まで開所することで飲食店や夜の観光に関する情報を発信していきたい。新型コロナウイルスへの対応については、国や県の動向を注視しながら市として必要な対策を講じたい。（市長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 金沢市立病院について
- 2 オリンピック・パラリンピックへの対応について
- 3 働き方改革と男性の育児休業の取得促進について
- 4 観光施策について



創生かなざわ
熊野 盛夫 議員

新型コロナウイルスの対策

問 まだまだ先の見えない状況で、中小零細企業、商店街、飲食店への影響は計り知れない。矢面に立つ市の対応は最も重要と考えるが、金沢市の対策と取組について聞く。

答 国が実施する中小企業への資金繰り対策、設備投資、販路開拓の優先的支援について本市のホームページにおいて制度周知を行うとともに、金融相談員による相談業務やセーフティーネット保証制度の認定受付を行っている。また、国、県の支援内容を踏まえ迅速に対応していく。(市長)

温室効果ガス2050年実質ゼロ目標について

問 国連事務総長は、温室効果ガス大排出源となる国などに対し、2050年に実質ゼロにすることを求めている。金沢市の目標は、それに呼応する素晴らしいものだが、今後の課題とその解決に向けた取組について聞く。

答 課題は計画目標の見直しで、庁内ワーキングでの検討を踏まえ、学識経験者による地球温暖化対策推進協議会で明年度内に計画を策定したい。また、明年度からは公共施設等でのLED化や、再生可能エネルギーの導入、省エネ行動、ごみの減量化、公共交通利用促進、森林の再生、まちなかの緑化を進めるほか、地域や家庭、企業などそれぞれの立場で目標を掲げてもらい、温室効果ガス実質ゼロを実現したい。(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 新型コロナウイルスの対策
- 2 気候変動対策について
- 3 学校図書館司書の増員について
- 4 価値創造拠点について
- 5 民間提案制度の策定について
- 6 古紙の集団回収及び資源回収の支援制度の拡充について
- 7 子どもソーシャルワーカー増員について



自由民主党金沢市議員会
黒沢 和規 議員

愛玩動物の保護と飼養について

問 犬や猫などの愛玩動物と共生できるまちづくりを進め、また、飼い主の動物飼養の意識を啓発する趣旨から「金沢市動物愛護条例」を制定してはどうか。

答 金沢市、飼い主、事業者の責務を明確化し、犬、猫の適正・終生飼養を計画的・総合的に推進することが重要である。そのために条例を制定し、その理念を市民と共有することは大切だと思っている。明年度、条例の成立に向けて検討を進めていく。(市長)

石川中央都市圏ビジョンにおける各種事業の推進について

問 本市は石川中央都市圏ビジョンに示す各種事業を推進しているが、具体的事業として、旧北国街道に関わる事業を野々市市と連携して行ってはどうか。それが、観光客の分散等につながり、新しい交通体系の構築にもつながると思うが、どうか。

答 明年度、旧北国街道をめぐる歴史探訪イベントを近隣の市町と共同で開催したい。地域資源の魅力向上に連携して取り組むことは、観光客の分散につながる。引き続き、4市2町で協調し、圏域全体の発展につながるよう進めていきたい。(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 成年後見制度の利用促進に関わる施策の展開について
- 2 愛玩動物の保護と飼養について
- 3 石川中央都市圏ビジョンにおける各種事業の推進について
- 4 本市のまちづくりの理念と市長の思いについて

常任委員会連合審査会

※会派名は、発言時における所属会派名等を記載しています。

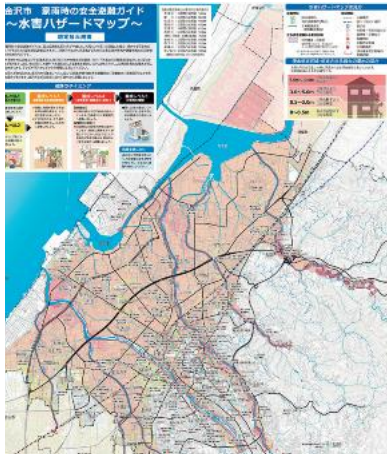
自由民主党金沢市議員会



清水 邦彦 委員

問 本市の水害ハザードマップについては、今年度末までに公表し、梅雨時期までに全戸配布されると聞いている。浸水域が拡大し、水深も拡大したマップに、市民が不安を抱くことのないよう各地域への周知説明が必要だと考えるが、地域外から通勤通学する人たちを含め、どのように対応していくのか。

答 水害ハザードマップの配布に併せ、地域の町会に加え、企業や学校に対しても説明会の開催を依頼し、地域外からの人への対応も含め、より丁寧な説明を実施することにより、正しい理解と安全な避難につながるよう周知に努めていく。
(内水整備課長)



水害ハザードマップ

問 水害ハザードマップを地域防災計画の改定にどのように反映するのか。また、各地域自主防災組織が避難訓練に活用する地区防災計画策定の計画変更も求められると考えるが、どのように指導助言していくのか。

答 指定避難場所の利用範囲等を記載するほか、水平避難の在り方等についても検討を重ね、地域防災計画に反映させるなど、水害対策をより一層強化していく。また、地区防災計画についても地域の人々と一緒に必要性や変更について確認しながらつくっていききたい。
(市長)

【質疑事項】

- ①水害ハザードマップについて
- ②危機管理センターについて
- ③中小企業振興・経営強化について



高 誠 委員

問 廃棄物及びその処理残渣を最終処分するために平成6年に開設した戸室新保埋立場は、廃棄物の資源化、減量化などの積極的な取組と市民の理解・協力により、延命化がはかられたが、残りの容量について聞く。

答 次期埋立場との併用や最終覆土を考慮すると、あと3年程度の埋立てが可能である。
(環境政策課長)

問 令和2年10月に供用開始する新たな処理場について、受入容量と環境への配慮・工夫への取組を聞く。

答 次期埋立場は周辺の自然環境等に配慮した設計施工を行い、地域の人々とも協議を重ね作業環境の安全性にも十分配慮した。埋立容量は271万立方メートルで、今後、約50年間の埋立てが可能である。
(環境局長)



次期埋立場

【質疑事項】

- ①廃棄物処理場について
現在の埋立場について／次期埋立場について
- ②スポーツ施設等について
最近の子どもたちのスポーツ環境について／金沢市民野球場について／あめりんパークについて／内川スポーツ広場について
- ③視察の受け入れについて
業務に支障はないか／今後の受け入れについて



高岩 勝人 委員

問 東京事務所内に営業戦略室が設置されて約10年がたつが、これまでの業務をどう評価しているか。

自由民主党金沢市議会（つづき）

答 修学旅行の誘客や、県人会をはじめとした石川にゆかりある人々とのネットワーク活用に力を発揮しているなど、様々な実績を残しており、高く評価している。（市長）

問 海外に向けての発信を強化するため、海外に拠点がある国の出先機関と連携することが望ましい。自治体国際化協会（クレア）等を含めたこれらの機関との連携について、どのように考えているのか。

答 本市はクレアパリ事務所に職員を派遣しており、イタリアやスペインでも観光プロモーション等で協力してもらっている。今後もこうした機関と連携を図り、本市の事業の効果を高めたい。（村山副市長）

問 政府は小中学生へのタブレット型端末を4年をかけて全額国費で整備することを決定したが、整備初年度と4年後では端末の機能が著しく違ってくるため、市が予算化して前倒しで整備できないか。

答 早い時期での整備が望ましいが、多大な初期費用に加え、機器の更新年度が同年度となると、今後、定期的に莫大な予算が必要となる。そのため、国の補助金を活用して段階的に整備していくこととした。（教育長）

【質疑事項】

- ① 公共施設整備の在り方について
- ② JICA北陸との連携について
- ③ 海の幸魅力発信について
- ④ 学校現場のICT化について

みらい金沢



田中 美絵子 委員

問 新年度における路線バスの運転手不足解消に向けた検討会の議論の方向性について聞く。

答 運転手不足の現状について、調査や分析を行い、全国的な取組事例も参考にしながら、運転手の確保につながるよう、若年層の新規採用や女性採用の拡大、早期の離職防止など、有効な方策を取りまとめる。（交通政策部長）

【質疑事項】

- ① 市立病院について
- ② ガス・発電事業について
- ③ 交通政策について



喜成 清恵 委員

問 本市で新たに始まる子どもの生活支援団体ネットワーク事業の目標は何か。

答 経済的に困難な状況にある子どもや家庭を各団体の支援につなげるため、子どもの居場所マップ等を整備していく。（こども未来部長）

問 子ども体験活動支援事業において、ひとり親家庭や生活保護世帯の児童を対象に発行するクーポンは、どのように利用しやすくするのか。

答 総額5,000円相当のクーポンだが、経済的に困難な状況にある児童に多様な体験の機会を増やすため、親子での利用や複数枚の利用など、使いやすい制度としていく。（子育て支援課長）

【質疑事項】

- ① 女性活躍について
- ② 女性の働き方について
- ③ 子どもの居場所づくり
- ④ 子ども体験活動支援事業



山本 由起子 委員

問 教職員の働き方改革とともに、子どもの負担軽減の観点からも、標準授業時数を超えた授業の実施は見直すべきと考えるが、本市の小中学校において、授業実施時数が全国平均より多くなっているのは、どのような理由によるのか。

答 各学校では、基礎・基本の確実な定着や個に応じたきめ細かな指導の充実に向けて教員が丁寧に指導した結果、全国平均よりも授業実施時数が多くなっているものと考えている。（学校指導課長）

【質疑事項】

- ① 教職員の働き方改革について

金沢保守議員会



小林 誠 委員

問 フッ化物洗口の先進県である新潟県と石川県の小学生の虫歯（齲蝕歯）の平均本数は3倍の格差がある。市内の小学校でのフッ化物洗口を進めていくべきであるが、今後どのように実施校を増やしていくのか。

答 歯と口の健康が身体全体の健康に影響することは医学的にも証明されており、実施校の拡大については成果と課題を踏まえ、検討する。（市長）

問 共生社会として「ユニバーサルデザインのまちづくり」を具現化するため、スポーツ・観光施設のトイレ環境の改善の具体的な計画を聞く。

答 市有施設の新築や大規模改修時に車いす利用者やオストメイトにも対応した多目的トイレを整備することに加え、視覚に障害のある人のための音声情報案内装置の設置を進めている。（福祉局長）

【質疑事項】

- ①世界情勢と誘客施策について
- ②臨時休校に伴う教育の今後について
- ③歯と口の健康づくりについて
- ④共生社会について



前 誠一 委員

問 水路や農道とともに県道や市道の草刈りも併せて地元で行ってきたが、最近では人手不足が顕著となっている。現物給付を含め、行政の手当ての充実が必要だと思うが、どうか。

答 市道延長が長い現状もあり、制度の見直しについては課題も多いが、様々な意見を参考にし、検討していきたい。（市長）

【質疑事項】

- ①県道、市道の地元の草刈りについて
- ②北陸自動車道に架かる橋について
- ③北陸自動車道、北陸新幹線の路面排水について



宮崎 雅人 委員

問 金沢港整備促進期成同盟会が国への要望活動を実施しているが、地元や地域案件はどのようにしてきたのか。

答 要望活動の際には金沢港と環状道路に力を入れている。県議・市議、さらに民間とともに要望を重ねており、順調に進捗している。（市長）

【質疑事項】

- ①金沢港について
- ②百万石まつりについて
- ③除雪費について

公明党金沢市議員会



稲端 明浩 委員

問 ひきこもりや生活困窮者の支援体制における課題や充実に向けての協議は、どのように行われているのか。

答 平成27年4月に金沢弁護士会、金沢市医師会、医療・介護・障害のサービス提供機関等で構成する金沢市生活困窮者自立支援連絡協議会を設

置した。年2回会議を開催し、情報交換や支援過程で明らかになった課題への対応、支援体制の充実等に関して協議している。（生活支援課長）

問 生きづらさを感じる人の居場所づくりの有効性と今後の連携・支援についてどう考えるか。

答 同じ悩みを抱えた人たちの存在に気づき、仲間意識を持つことで少しずつ社会とのつながりを回復していける居場所が必要であると考えている。平成30年度からボランティア団体に委託した「つどいの場」を月1回開催している。（保健局長）

公明党金沢市議会（つづき）

ひきこもりをテーマとした講演会を開催し、当事者や支援団体にパネリストとして参加してもらっている。明年度は、石川中央都市圏で連携して開催することとしており、情報交換や協働の機会を提供するなど支援に努めていく。（市長）

問 当事者・行政・企業が連携した就職氷河期世代の就労支援制度の構築が必要ではないか。また、職場定着に向けて就労後の「応援」も必要と考えるが、どのように取り組むのか。

答 NPO 法人や民間企業と連携・協働した就労支援についても視野に入れながら、本市の実情に応じた施策を研究する。また、就労後のサポートも大切であることから就職氷河期世代専門の相談

窓口などの周知に努める。

（経済局長）

問 国が新年度から３年間、集中的に取り組むとしたひきこもりや就職氷河期世代の就労支援の方針を受けて、本市はどう対応するのか。

答 国の施策に呼応し、就職氷河期世代の正規雇用への転換促進等を盛り込んだ新規事業を新年度予算に計上した。ピアサポートという言葉は福祉の世界でよく耳にしていたが、就労において意義があるということも実感した。なかなか結果が出にくいからこそ、行政がやらなくてはならないテーマとしてしっかり取り組んでいく。（市長）

【質疑事項】

- ①ひきこもり・生活困窮者の就労準備支援について
- ②就職氷河期世代の就労支援について

日本共産党金沢市議員団



大桑 初枝 委員

問 民法改正に伴い、国土交通省通知において公営住宅の入居に際しての連帯保証人を不要とする条例案を示しているが、本市はどのように改正するのか。

答 連帯保証人については、特別な事情があると市長が認める場合は、免除する規定を新たに設けることにした。（定住促進部長）

問 公営住宅の入居に際して、市長が特別の事情があると認める場合には、連帯保証人を不要としているが、特別の事情とは何か。

答 親族や知人等の身近な関係者が死亡または音信不通など、実態として連帯保証人が確保できな

い場合などを想定している。

（定住促進部長）

問 泉本町に建設予定の共同調理場は、10年前の計画では6,000食だったが、今回の計画では8,000食に変更され、さらに新たな学校給食調理場再整備計画では、1万1,000食に対応できる超大型の調理場を建設する予定となっているが、その理由は何か。

答 求められる食数を確保するためには、別途調理場の新設が必要になる。1万1,000食程度の調理場を1施設整備すれば、毎月共同調理場分も含め、老朽化が進む他の学校併設調理場の集約化が図れることから、今回の計画で見直したものである。

（教育総務課長）

【質疑事項】

- ①市営住宅について
- ②学校給食について
- ③ICT教育について

このほか、創生かなざわの玉野道委員が「放課後児童クラブの学校法人とNPO法人など運営委託先の対象拡大と地域の実情を考慮し、公募方式により選定を行う等の受入れ環境の確保に関して」の質疑を行いました。



本会議の 発言から (追加補正)

3月24日に追加提案された「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と地域経済への緊急対策にかかる経費の追加補正予算案」に対して、5人の議員が質疑を行いました。

3月24日（火）

- | | |
|------------------|------|
| ・坂本 泰広 議員（自民党） | P.20 |
| ・森 一敏 議員（みらい） | P.21 |
| ・小林 誠 議員（金沢保守） | P.21 |
| ・源野 和清 議員（公明党） | P.22 |
| ・森尾 嘉昭 議員（日本共産党） | P.22 |

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した原稿をもとにしています。

※会派名は、発言時における所属会派名を記載しています。

提案理由説明（要旨）・追加補正

◆感染症防止対策

保育所及び児童クラブ等における衛生・健康管理に必要な物品の購入に対し支援を行うほか、市保健所における相談・検査体制の強化や感染症防止用資材を追加配備するなど、子どもの健康や見守り体制、保護者の安心の確保に取り組んでいく。

◆地域経済への緊急対策

中小企業の資金繰りを支援するため、中小企業振興特別資金に特別枠を創設するとともに、市セーフティネット資金の融資率の引き下げや、信用保証料の助成を実施するなど、中小企業への緊急支援に取り組んでいく。

本会議の発言から



自由民主党金沢市議員会
坂本 泰広 議員

感染症予防対策として

問

子どもから高齢者まで、幅広く市民の声を拾い、市民に確かな情報を伝えることが重要である。今回の感染症予防対策の概要について聞く。

答

市民からの問合せに対応するコールセンターを開設するとともに、保健所職員用の防護服、非接触型の体温計の配備を予定している。また、小中学校の全学級に消毒液を配備することに加え、児童養護施設等で使用する消毒液等の購入費用を支援する。（市長）

地域経済緊急対策について

問

基礎自治体だからこそできる柔軟できめ細やかな対応が必要だと思うが、どうか。また、本市特有の観光や商業分野における支援など、金沢の特性に合わせた金沢らしい支援をどう実現するのか。

答

低利融資制度や信用保証料補助など市単独事業を含め、国に呼応した中小企業支援策を迅速かつ積極的に対応する。新型コロナウイルス感染症により影響を受けた中小企業に対しては、ガス上下水道料金や市税等について実情に応じて、申請に基づき支払いの猶予を行う。また、短期集中的な支援として、直接的な打撃を受けている宿泊業の衛生管理・魅力向上の取組や、飲食業・商店街等の客足回復に向けた広報活動等に全額助成を行う。（市長）

【質疑事項】（一括質問方式）

- 1 感染症予防対策について
- 2 地域経済緊急対策について
- 3 仕組み・体制づくりについて



みらい金沢
森 一敏 議員

歳入補正予算の構成について

問 本追加補正の財源が総額 5 億 1,000 万円の中で、大半の 4 億 1,500 万円を本市財政調整基金を取り崩して充当することとしている。国庫支出金等を大きく上回る本市単独財源の支出を判断した理由について聞く。

答 今般の新型コロナウイルス感染症に対しては、国・地方が総力を挙げてスピード感を持って取り組んでいかなければいけない。災害といっても過言ではないこの状況に、緊急かつ臨時的な措置として、市単独事業については財政調整基金を取り崩し、財源を確保することとした。(市長)

低利融資、信用保証料助成制度の対象事業者の考え方について

問 県内の中小企業の 9 割が、新型コロナウイルス感染拡大により業績が悪化ないしは悪化の見通しであると回答していると聞く。中小企業支援は待ったなしの課題だが、これらの支援対象はどのような事業者を想定しているのか。また、必要としている事業者がこれらの緊急支援事業を迅速に利用できるために、本市としてどのように取り組むのか。

答 中小企業金融保証法第 2 条で定義されている中小企業者を対象とした融資を行う。信用保証料の助成については、今回、貸付利率を引き下げた本市の低利な融資制度を利用する中小企業者を対象としている。これらの支援策は、市のホームページや広報媒体等の活用により、早期の周知に努めるとともに、明日から開設する中小企業緊急相談窓口において、柔軟でスピード感のある相談、助言、支援に取り組んでいく。(市長)

【質疑事項】(一括質問方式)

- 1 歳入補正予算の構成について
- 2 コールセンターの機能について
- 3 感染防止用資材の調達の見通しについて
- 4 私立保育園等代替職員臨時雇用助成費並びに事務所内臨時預かり支援費の給付手続について
- 5 低利融資、信用保証料助成制度の対象事業者の考え方について
- 6 宿泊施設魅力向上等奨励事業費の趣旨、対象について
- 7 本追加補正後の対応の基本的な方針について



金沢保守議員会
小林 誠 議員

教育環境への対策について

問 新型コロナウイルスに係る経費として、小中学校感染症防止対策費が計上されているが、新年度からの学校現場において、どのような対策を行うのか。

答 教室の換気を徹底するなど、国の専門家会議の提唱を守り、児童・生徒に対しては、せきエチケットや手洗いなどの基本的な感染症対策の徹底などを講じていきたい。(教育長)

地域経済対策について

問 中小企業への経済対策を行う上において、本市の相談窓口で国・県の支援なども相談できる相談体制を構築すべきと考えるが、奨励金の具体的な対象事業に併せ聞く。

答 宿泊業・飲食業をはじめ相談体制を強化し、国や県の支援策も併せて紹介できる体制を整えていきたい。奨励金については、風評被害の対策として宿泊業などに交付するものであり、衛生管理をはじめ、誘客キャンペーンの展開など、それぞれの事業者の誘客戦略に応じた取組に活用してほしいと考えている。(市長)



【質疑事項】(一括質問方式)

- 1 補正予算に対する思いについて
- 2 感染症防止対策について
- 3 教育環境への対策について
- 4 地域経済対策について
- 5 山野市長の決意について



公明党金沢市議員会
源野 和清 議員

ホテル・旅館等誘客対策について

問 宿泊施設の魅力向上等奨励事業について、どのような活用策を想定できるのか。また、申込みがしやすくなるよう、事業の考え方と具体事例を聞く。

答 各宿泊施設での衛生管理や、施設の魅力を向上させることにより風評被害等を払拭し、観光客が安心して宿泊できるよう PR することで誘客を促進し、観光産業の回復を図っていききたい。具体的には、各宿泊施設での衛生管理、お客様へのサービス向上の各種企画、旅行会社やウェブサイトのタイアップによる誘客キャンペーンの展開など、落ち込んでいる宿泊者数の早期回復につながるよう、それぞれの事業者の誘客戦略に応じた取組に活用してほしい。（市長）

プロモーション促進費について

問 宿泊業、飲食業、商店街等の団体が客足回復のために実施する広報活動の支援について、販促時期が対象期間以降になる場合など、事業の対象となる期間についての考え方を聞く。

答 この制度は、宿泊業、飲食業、商店街等の団体が実施する、客足を回復させるための広報活動に支援するものであり、地域経済の停滞感を払拭するためにも、いち早く実施してほしい。販促事業が7月以降に行われる場合でも6月末までに完了する広報活動であれば対象としたい。（市長）

【質疑事項】（一括質問方式）

- 1 保育所及び児童クラブ等への支援
- 2 子どもの健康と保護者の安心の確保
- 3 中小企業支援対策
- 4 ホテル・旅館等誘客対策



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員

新型コロナウイルス感染拡大の現状と本市補正予算の特徴について

問 追加補正予算では、本市単独事業が20項目、そのうち感染防止対策11項目、地域経済緊急対策9項目となっているが、予算編成に当たってどのような考えで盛り込んだのか。

答 国の専門家会議から示された3条件が重なる状況を回避し、市民生活を正常な状態に戻していくことに加え、大きな影響を受けている中小企業を支援していくことに意を用いた。

（市長）



新型コロナウイルス感染防止の啓蒙資料
（出典・首相官邸HPより）

検査体制について

問 追加補正予算の中で、検体検査費が計上されているが、PCR検査の強化が課題であり、名古屋市や新潟市が行っているドライブスルー方式の検査を本市保健所で実施できないか。

答 検体採取している帰国者・接触者外来は、一般の患者と交錯しないよう動線を分け、職員は感染防御策を講じて作業を実施しており、院内感染のおそれは極めて低いと考えられることから、現行の検査体制をしっかりと続けていく。（市長）

【質疑事項】（一問一答方式）

- 1 新型コロナウイルス感染拡大の現状と本市補正予算の特徴について
- 2 補正予算の内容と強化策について

常任委員会の活動状況

金沢市議会では5つの常任委員会を設けています。定例月議会中には提出された議案の審査を行うほか、定例月議会が開かれていないときも、市政についての課題や市の計画、事業内容を調査しています。

委員会名	開催日	主な報告事項
総務常任委員会	1月30日	・スマートフォンアプリによる税等の納付について ・薬師谷地区における地域運営交通の試験運行について
	2月17日	・金沢歌劇座あり方検討会の取りまとめについて ・金沢市第二本庁舎内覧会及び落成記念式典の実施について
	3月16日	・金沢市人口ビジョン【改訂版】(案)及び第2次金沢版総合戦略(案)の策定について ・石川中央都市圏公共施設等総合管理広域連携推進計画について
経済環境常任委員会	1月15日	・石川県金沢食肉流通センターの今後のあり方検討会(第1回)の開催結果について ・気候変動適応策講演会の開催について
	2月13日	・金沢KOGEIアクションプランの策定について ・中央卸売市場再整備の在り方検討会からの検討結果報告について
	3月16日	・新型コロナウイルス感染症に対する今後の市の対応について ・金沢市ごみ処理基本計画(第6期)の策定について
市民福祉常任委員会	1月16日	・金沢市子ども・子育て支援事業計画(第2期)骨子案について ・保育施設等利用調整基準のホームページでの公表について
	2月17日	・新型コロナウイルス感染症に関する対応等について ・「市立病院の今後のあり方検討会」における提言書について
	3月16日	・「多様な性」への理解の促進と支援のための金沢市職員・教職員ハンドブックの作成について ・かなざわ子育て夢プラン2020の策定について
建設企業常任委員会	1月15日	・「田園地域・中山間地域における金沢市開発審査会附議基準の改正骨子(案)」について ・今冬の除雪状況について
	2月12日	・まちづくり協定の締結について ・堀川町地内水道漏水事故について
	3月16日	・金沢市橋梁長寿命化修繕計画の改定について ・金沢市ガス事業・発電事業譲渡基本方針の策定について
文教消防常任委員会	1月27日	・東京パラリンピック競技大会の事前合宿の実施に関するフランス共和国障がい者スポーツ連盟との協定締結について ・金沢21世紀美術館リニューアル工事の完了について
	2月17日	・金沢市第二本庁舎内覧会及び落成記念式典の実施について ・新たな学校給食調理場再整備計画の骨子について
	3月16日	・新型コロナウイルス感染症に対する今後の市の対応について ・金沢市・砺波地域消防組合・小矢部市・南砺市消防相互応援協定に基づく合同訓練の実施について

令和元年度 3月定例月議会 審議結果

■全会一致の議案

※審議結果は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

議案番号	件 名	本会議の結果
------	-----	--------

◇市長提出（議案 90 件中 71 件）

議案第52号	令和2年度金沢市営地方競馬事業費特別会計予算	可 決
議案第55号	令和2年度金沢市工業団地造成事業費特別会計予算	可 決
議案第56号	令和2年度金沢市住宅団地建設事業費特別会計予算	可 決
議案第57号	令和2年度金沢市駐車場事業費特別会計予算	可 決
議案第60号	令和2年度金沢市母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計予算	可 決
議案第66号	令和2年度金沢市病院事業特別会計予算	可 決
議案第67号	令和2年度金沢市中央卸売市場事業特別会計予算	可 決
議案第68号	令和2年度金沢市下水道事業特別会計予算	可 決
議案第69号	令和2年度金沢市公設花き地方卸売市場事業特別会計予算	可 決
議案第70号	金沢市社会福祉法に基づく無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	可 決
議案第71号	金沢市動物愛護管理員の設置に関する条例制定について	可 決
議案第73号	金沢市非常勤職員の公務災害補償等に関する条例及び職員の服務等に関する条例の一部改正について	可 決
議案第74号	金沢市の基金の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決
議案第75号	金沢市市有財産条例の一部改正について	可 決
議案第76号	金沢市税賦課徴収条例の一部改正について	可 決
議案第78号	金沢市教育プラザ条例の一部改正について	可 決
議案第79号	金沢市体育施設条例の一部改正について	可 決
議案第80号	金沢市における企業立地及び中小企業構造の高度化の促進に関する条例の一部改正について	可 決
議案第84号	金沢市児童福祉法に基づく児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決
議案第85号	金沢市就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づく幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決
議案第86号	金沢市児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決
議案第88号	金沢市福祉健康センター条例及び金沢市保健所及び福祉健康センター使用料等徴収条例の一部改正について	可 決
議案第89号	金沢市食品衛生法施行条例の一部改正について	可 決
議案第90号	金沢市旅館業法施行条例の一部改正について	可 決
議案第91号	金沢市住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例の一部改正について	可 決
議案第92号	金沢市公衆浴場法施行条例の一部改正について	可 決
議案第93号	金沢市興行場法施行条例の一部改正について	可 決
議案第94号	金沢市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部改正について	可 決
議案第95号	金沢市における市民参画によるまちづくりの推進に関する条例及び金沢市における土地利用の適正化に関する条例の一部改正について	可 決
議案第96号	金沢市における社会環境に悪影響を及ぼすホテル等の建築の規制に関する条例の一部改正について	可 決
議案第98号	金沢市における緑のまちづくりの推進に関する条例の一部改正について	可 決
議案第100号	金沢市公営企業の設置等に関する条例等の一部改正について	可 決
議案第101号	金沢市農村下水道条例の一部改正について	可 決
議案第102号	金沢市消防団条例の一部改正について	可 決
議案第103号	谷口吉郎・吉生記念金沢建築館の指定管理者の指定について	可 決

議案番号	件 名	本会議の結果
議案第104号	自転車等駐車場の指定管理者の指定について	可 決
議案第105号	金沢市立中村記念美術館等の指定管理者の指定について	可 決
議案第106号	金沢卯辰山工芸工房等の指定管理者の指定について	可 決
議案第107号	金沢職人大学校の指定管理者の指定について	可 決
議案第108号	金沢湯涌江戸村の指定管理者の指定について	可 決
議案第109号	金沢市異業種研修会館の指定管理者の指定について	可 決
議案第110号	金沢市ものづくり会館の指定管理者の指定について	可 決
議案第111号	石川県金沢食肉流通センターの指定管理者の指定について	可 決
議案第112号	金沢市松ヶ枝福祉館及び金沢福祉用具情報プラザの指定管理者の指定について	可 決
議案第113号	金沢市地域老人福祉センター及び金沢市老人憩の家の指定管理者の指定について	可 決
議案第114号	金沢市障害児通園施設ひまわり教室の指定管理者の指定について	可 決
議案第115号	金沢健康プラザ大手町の指定管理者の指定について	可 決
議案第116号	旧高峰家・旧検事正官舎の指定管理者の指定について	可 決
議案第117号	金沢駅東駐車場及び武蔵地下駐車場の指定管理者の指定について	可 決
議案第118号	地区公民館の指定管理者の指定について	可 決
議案第119号	松声庵の指定管理者の指定について	可 決
議案第120号	包括外部監査契約の締結について	可 決
議案第121号	令和2年度金沢市下水道事業特別会計資本剰余金の処分について	可 決
議案第123号	令和元年度金沢市営地方競馬事業費特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第124号	令和元年度金沢市市街地再開発事業費特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第125号	令和元年度金沢市工業団地造成事業費特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第126号	令和元年度金沢市住宅団地建設事業費特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第127号	令和元年度金沢市国民健康保険費特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第128号	令和元年度金沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第129号	令和元年度金沢市介護保険費特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第130号	令和元年度金沢市ガス事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第131号	令和元年度金沢市水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第132号	令和元年度金沢市発電事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第133号	令和元年度金沢市病院事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第134号	令和元年度金沢市中央卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第135号	令和元年度金沢市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第136号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（次期廃棄物埋立場浸出水調整槽築造工事）	可 決
議案第137号	市道の路線認定について	可 決
議案第138号	市道の路線変更について	可 決
議案第139号	令和元年度金沢市一般会計補正予算（第5号）	可 決
議案第140号	金沢市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて	同 意

◇議員提出（議案9件中6件）

議会議案第24号	新型コロナウイルス感染症対策のさらなる強化を求める意見書	可 決
議会議案第28号	心身障害者医療費助成制度の早期創設を求める意見書	可 決
議会議案第29号	地域における持続可能な医療・介護制度を確立するための適切な財源の確保を求める意見書	可 決
議会議案第30号	地球温暖化対策の加速度的な推進を求める意見書	可 決
議会議案第31号	病児・病後児保育事業の拡充を求める意見書	可 決
議会議案第32号	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	可 決

◇請願（2件中1件）

請願第5号	金沢市における精神障害者の医療費助成について	採 択
-------	------------------------	-----

■賛否などの態度が分かれた議案等（議員別賛否一覧）

※○：賛成、×：反対、退：退席、欠：欠席、議長は採決に加わらないため、「／」と表示しています。

※所属会派は議決時点での会派等で記載しています。

※会派等の名称：金沢保守（金沢保守議員会）、公明党（公明党金沢市議員会）、日本共産党（日本共産党金沢市議員団）、創生（創生かなざわ）

※各議員の賛否は、金沢市議会ホームページからご覧になれます。

議 番	案 号	件	名	本会議の結果	自由民主党金沢市議員会										みらい金沢			金沢保守			公明党		日本共産党		創生												
					荒木 博文	上田 雅大	中川 俊一	小間井 大祐	坂本 泰広	高 誠	喜多 浩一	下沢 広伸	高岩 勝人	野本 正人	久保 洋子	松村 理治	清水 邦彦	黒沢 和規	福田 太郎	横越 徹	高村 佳伸	田中美絵子	喜成 清恵	麦田 徹	山本由起子	森 一敏	中西 利雄	粟森 概	新谷 博範	前 誠一	小林 誠	宮崎 雅人	澤飯 英樹	上原 慶子	稲端 明浩	源野 和清	秋島 太

◆市長提出（議案90件中19件）

議案 第 51 号	令和 2 年度金沢市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	退	○	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○		
議案 第 53 号	令和 2 年度金沢市市街地再開発事業費特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
議案 第 54 号	令和 2 年度金沢市公共用地先行取得事業費特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
議案 第 58 号	令和 2 年度金沢市国民健康保険費特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
議案 第 59 号	令和 2 年度金沢市後期高齢者医療費特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
議案 第 61 号	令和 2 年度金沢市介護保険費特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
議案 第 62 号	令和 2 年度金沢市ガス事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	退	○	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
議案 第 63 号	令和 2 年度金沢市水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
議案 第 64 号	令和 2 年度金沢市発電事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	退	○	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議案 第 65 号	令和 2 年度金沢市工業用水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議案 第 72 号	金沢市職員定数条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
議案 第 77 号	金沢市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
議案 第 81 号	金沢市中央卸売市場業務条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議案 第 82 号	金沢市公設花き地方卸売市場業務条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○

※○：賛成、×：反対、退：退席、欠：欠席、議長は採決に加わらないため、「／」と表示しています。

※所属会派は議決時点での会派等で記載しています。

※会派等の名称：金沢保守（金沢保守議員会）、公明党（公明党金沢市議員会）、日本共産党（日本共産党金沢市議員団）、創生（創生かなざわ）

※各議員の賛否は、金沢市議会ホームページからご覧になれます。

議案番号	件名	本会議の結果	自由民主党金沢市議員会												みらい金沢				金沢保守				公明党			日本共産党		創生											
			荒木博文	上田雅大	中川俊一	小間井大祐	坂本泰広	高多誠	喜多浩一	下沢広伸	高岩勝人	野本正人	久保洋子	松村理治	清水邦彦	黒沢和規	福田太郎	横越徹	高村佳伸	田中美絵子	喜成清恵	麦田徹	山本由起子	森一敏	中西利雄	栗森慨	新谷博範	前誠一	小林誠	宮崎雅人	澤飯英樹	上原慶子	稲端明浩	源野和清	秋島太	大桑初枝	広田美代	森尾嘉昭	熊野盛夫
議案第83号	金沢市印鑑条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議案第87号	金沢市国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議案第97号	金沢市公園条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議案第99号	金沢市営住宅条例及び金沢市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議案第122号	令和元年度金沢市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	

◇議員提出（議案9件中3件）

議会議案 第 25 号	75 歳以上の高齢者の 医療費 2 割負担を中 止するよう求める意 見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×		
議会議案 第 26 号	自衛隊の中東派遣を 中止するよう求める 意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	
議会議案 第 27 号	新型コロナウイルス 感染拡大防止に向け た一斉臨時休校によ る学習の遅れを取り 戻すための支援を求 める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×

◇請願（2件中1件）

請願第4号	金沢市におけるコミュニティバスの導入促進に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×
-------	-----------------------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

◇陳情（2件）

陳情第 2 号	妊産婦医療費助成制度等の創設を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×
陳情第 3 号	金沢市のガス・発電事業の事業譲渡について慎重な検討を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×

常任委員会の要望事項

3月24日の本会議において、令和2年度予算に係る議案が全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。本会議での採決に先立ち、各委員長による委員長報告が行われ、下記のとおり要望事項が付されました。



総務常任委員会

下沢広伸委員長

- 1 金沢歌劇座の建て替えや中央卸売市場及び市立病院の再整備など、今後、大規模な公共施設の整備事業が多く見込まれることから、個々の事業の具体化に当たっては、長期的な視点に立ち、市政の重要課題と財政運営の健全性を見極めながら、検討していくこと。
- 2 これからのまちづくりにおいては、歴史、文

化、都市景観など、これまで培ってきたまちの魅力を磨き高めるとともに、その質をさらに高める観点から、日本銀行金沢支店や金沢都ホテル跡地など、まちの活性化に寄与する民間施設等の将来的な在り方を含め、新たな視点を加えて総合的に進めていくこと。

- 3 職員の働き方改革の推進に当たっては、第一本庁舎に加え、新たに完成した第二本庁舎の供用開始に伴う執務環境の改善と併せ、事務の効率化を更に推進していくことによって、より一層の市民サービスの向上の実現に向けて、よりよく職員が働ける環境づくりを構築していくこと。



経済環境常任委員会

源野和清委員長

- 1 経済部門における新型コロナウイルス感染症対策として、国は事業者への資金繰り支援などの各種支援策を設けるとともに、その相談窓口を設置し、対応しているが、これらの支援策等をより多くの中小企業者等へ周知するため、本市においても、基礎自治体として積極的な情報発信及び窓口での丁寧な対応を行うほか、国の動向や中小企業の業績の推移等に注視しつつ、適時適切な対応に取り組まれない。

- 2 伝統工芸品の振興について、消費を拡大することが作り手や後継者の育成につながるという視点に意を用いつつ、次世代が伝統工芸品に触れる機会の創出をはじめ、海外への情報発信の強化や観光との連携など、金沢 KOGEI アクションプランの着実な実践に取り組まれない。

- 3 石川県金沢食肉流通センターについて、センターを管理運営し、本市が出資している一般社団法人石川県金沢食肉公社の経営悪化や、それに対する行政からの財政支援の増加等の課題に対応するため、金沢市民への食肉の提供及び食の安全・安心の確保という視点を大切にしつつ、県や関係者等と連携し、抜本的な改善に取り組まれない。



市民福祉常任委員会

坂本泰広委員長

- 1 新型コロナウイルス感染症対策については、刻一刻と状況が変化している。今後も国・県、医療機関等と緊密に連携し、取り巻く状況の変化に

しっかりと対応すること。また、市民の安全・安心が確保できるよう、人員増を含めた保健所等の感染症対策体制を強化すること。

- 2 市立病院の今後の在り方については、地域の声を大切にした上で地域医療構想や他病院との連携を考慮し、自治体病院としての役割を果たすこと。また、今後、高さ規制について新たな視点での議論が検討されていることから、他所での建て

替えありきで推進することなく、現地での建て替えや改修も検討項目に加え、議論を深めること。

3 子どもを守り、健やかに育むまちをつくるため、子育て世代の負担軽減に努めること。また、保育の質を確保した上で、新設等により放課後児童クラブの定員が増えるよう各種支援を充実させ、安心して子どもを預けられる環境を確保すること。

4 地域包括支援センター及び日常生活圏域の見直しに当たっては、区域ごとの偏りがなくなるよ

う十分に考慮すること。また、地域性が適切に反映されるように、再編が進む小中学校の通学区域を考慮すること。さらに、現在困っている高齢者が安心できるようスピード感を持って取り組むこと。

5 各地区単位町会が健全に運営・活動できるよう、地域コミュニティの礎となる校下（地区）町会連合会等に対して適切に助言・指導を行うこと。



建設企業常任委員会

麦田徹委員長

1 本市のガス事業及び発電事業の譲渡に関する検討を進めるに当たっては、市民からの十分な理解が得られるよう、今後も丁寧な説明に努めるほか、ガス事業・発電事業民営化に関する特別委員会での今後の議論も踏まえて適切に対応されたい。

2 多くの老朽化した水道管が埋設されていると考えられる市の中心部においては、これまで以上に漏水の点検を強化するとともに、水道管の更新スピードをさらに上げるなど、安全・安心な市民

生活の確保に万全を期されたい。

3 総合治水対策の推進に当たっては、近年、全国各地で豪雨が頻発化、激甚化していることを踏まえ、水害ハザードマップ等を活用し、市民への水防意識の浸透と自助・共助力のさらなる向上を図るとともに、災害時の浸水被害による行政及び民間における経済的損失を最小化するための取組を鋭意進められたい。

4 都市計画等のまちづくりにおいては、本市の中山間地域を含めた各地域において持続可能な発展がもたらされるよう意を用いるとともに、木質都市の創出に向けた取組においては、本市の様々な取組との相乗効果が生まれるよう関係部署との連携を密にして推進されたい。



文教消防常任委員会

小間井大祐委員長

1 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、その動向を注視し、関連事業の本格実施に万全を期するとともに、開催後も市民がスポーツに親しめるようスポーツ文化を推進されたい。また、新たな「文化芸術アクションプラン」を策定し、伝統文化の継承・振興と新たな文化の創造を図るとともに、金沢の特徴ある文化を生かしたまちづくりを推進されたい。

2 大規模災害に備えた消防・救急体制の充実に取り組むとともに、消防・救急車両の相互乗り入れや広域災害時の対応訓練の実施など、近隣市町との広域連携をさらに推進されたい。また、複雑・多様化する火災現場に対応するため、実火災

を想定した様々な訓練を実施して、消防職員の現場対応力と安全管理体制を向上させ、事故防止に努められたい。

3 近年頻発する大規模な自然災害から市民の安全・安心を守るために、5月から運用を開始する危機管理センターを最大限に活用し、災害対策を充実させるとともに、関係部局と連携を密にし、市民に対して迅速で的確な避難情報等を提供するよう努められたい。

4 ICTを活用した教育に当たっては、学習用端末の1人1台体制を整備するとともに、利用方法の研修を充実させ、教職員の指導力向上を図られたい。また、いじめをなくす取組や3年目を迎える教職員の働き方改革において目標を達成できるよう努めるとともに、主体的・対話的で深い学びの視点による学習過程の改善や、学校の特色を生かした研究など、新学習指導要領を踏まえた本市独自の金沢型学習スタイルを实践されたい。

令和2年度委員会構成

3月定例会月議会において、令和2年度の委員会構成が決められました。

常任委員会

総務常任委員会（定数8）

委員長：高 誠

副委員長：田中美絵子

委 員：稲端 明浩 野本 正人 松村 理治
宮崎 雅人 広田 美代 玉野 道

経済環境常任委員会（定数7）

委員長：小間井大祐

副委員長：喜成 清恵

委 員：熊野 盛夫 栗森 慨 久保 洋子
秋島 太 黒沢 和規

市民福祉常任委員会（定数8）

委員長：源野 和清

副委員長：上田 雅大

委 員：大桑 初枝 麦田 徹 喜多 浩一
山本由起子 小林 誠 横越 徹

建設企業常任委員会（定数7）

委員長：前 誠一

副委員長：荒木 博文

委 員：中川 俊一 下沢 広伸 森 一敏
森尾 嘉昭 高村 佳伸

文教消防常任委員会（定数8）

委員長：坂本 泰広

副委員長：上原 慶子

委 員：新谷 博範 高岩 勝人 澤飯 英樹
中西 利雄 清水 邦彦 福田 太郎

議会運営委員会

（定数12、欠員1）

委員長：久保 洋子

副委員長：森 一敏

委 員：前 誠一 中川 俊一 小間井大祐
高岩 勝人 山本由起子 宮崎 雅人
源野 和清 広田 美代 清水 邦彦

特別委員会

防災・安全対策特別委員会（定数10）

委員長：山本由起子

副委員長：上田 雅大

委 員：上原 慶子 新谷 博範 松村 理治
澤飯 英樹 中西 利雄 清水 邦彦
福田 太郎 横越 徹

ガス事業・発電事業民営化に関する特別委員会

（定数10）

委員長：下沢 広伸

副委員長：小間井大祐

委 員：田中美絵子 熊野 盛夫 栗森 慨
久保 洋子 森 一敏 源野 和清
森尾 嘉昭 黒沢 和規

まちづくりにおける公共施設再整備等に関する

特別委員会（定数10）

委員長：高岩 勝人

副委員長：中川 俊一

委 員：前 誠一 麦田 徹 坂本 泰広
宮崎 雅人 広田 美代 玉野 道
秋島 太 高村 佳伸

議会広報委員会

（定数6）

委員長：高 誠

副委員長：稲端 明浩

委 員：荒木 博文 喜成 清恵 大桑 初枝
小林 誠

都市間交流について

本市は、他都市と観光交流や友好交流などの協定を締結し、都市間の交流を推進するなどして連携を深めています。市議会においても、交流協定都市を訪問し、議員相互に意見交換を行い交流を深めるとともに、様々な行政課題を解決するための調査、研究を目的とした行政視察を行っています。

令和元年11月には、本市議会から高松市（香川県）、文京区（東京都）、板橋区（東京都）及び目黒区（東京都）の各議会を訪問して行政視察を行うとともに、令和2年1月には目黒区（東京都）からの訪問を受け入れ、互いに都市が発展していく方策について議論を交わしました。



高松市訪問
～防災対策について視察・意見交換～



高松市訪問
～高松市防災合同庁舎について視察～



文京区訪問
～都市間交流のあり方について意見交換～



板橋区訪問
～板橋区の東京オリンピック・パラリンピック
2020の取り組みについて視察・意見交換～



目黒区訪問
～目黒区の東京2020大会に向けた
取り組みについて視察・意見交換～



目黒区からの訪問を受け入れました
～金沢文化スポーツコミッションについて
説明の後、意見交換～

所属会派の変更及び会派の結成

宮崎雅人議員、栗森慨議員は、3月2日付
けで、金沢保守議員会の所属となりました。

また、黒沢和規議員、清水邦彦議員、下沢
広伸議員、喜多浩一議員、高誠議員、坂本泰
広議員、小間井大祐議員、中川俊一議員、荒
木博文議員は3月24日付けで、金沢市議会
自由民主党議員会を結成しました。

この変更に伴う会派等の構成は以下のと
おりです。

- 金沢市議会自由民主党議員会 9人
- 自由民主党金沢市議員会 8人
- みらい金沢 6人
- 金沢保守議員会 6人
- 公明党金沢市議員会 4人
- 日本共産党金沢市議員団 3人
- (無会派)
- 創生かなざわ 2人

議会日誌

1月

- 14日 議会広報委員会
- 15日 経済環境常任委員会、建設企業常任委員会
- 16日 市民福祉常任委員会
- 27日 文教消防常任委員会
- 30日 総務常任委員会

2月

- 3日 議会運営委員会
- 12日 建設企業常任委員会
- 13日 経済環境常任委員会、議会広報委員会
- 17日 総務常任委員会、市民福祉常任委員会
文教消防常任委員会
- 21日 議会広報委員会
- 25日 議会運営委員会

3月

- 3日 **金沢市議会3月定例会月議会初日**
本会議（議案上程・提案理由説明）
議会運営委員会、議会広報委員会
- 5日 議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 本会議（質疑・一般質問）
- 12日 本会議（質疑・一般質問）
- 13日 本会議（質疑・一般質問）
- 16日 各常任委員会、議会運営委員会
- 17日 本会議（補正関係討論・採決）
各常任委員会、議会運営委員会
- 19日 常任委員会連合審査会、議会運営委員会
- 23日 各常任委員会、議会運営委員会、議会広報委員会
- 24日 本会議（討論・採決）
各常任委員会、議会運営委員会
各特別委員会、議会広報委員会
- 金沢市議会3月定例会月議会最終日**
令和元年度定例会金沢市議会閉会

新型コロナウイルス感染症対策について (市民の皆さまへ)

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基
本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳
エチケット」です。

感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

- 流水でよく手を洗った後、石けんをつけ、手のひらをよくこすり洗います。
- 手の甲をのばすようにこすり洗います。
- 指先・指の間を念入りにこすり洗います。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗いします。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

- 咳やくしゃみをする時は、肘の内側や手でおさえる。
- マスクを着用する（口・鼻を覆う）。
- ティッシュペーパーで口・鼻を覆う。袖で口・鼻を覆う。

正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う。
- ゴムひもを耳にかけ、鼻をしっかりと覆う。
- 隙間がないよう密着させる。

首相官邸 新型コロナウイルス対策本部

国の感染症対策啓発ポスター
(出典：首相官邸ホームページより)

6月定例会月議会の日程(予定)

6月8日(月)	本会議（提案理由説明）
16日(火)	本会議（質疑・一般質問）
17日(水)	本会議（質疑・一般質問）
18日(木)	本会議（質疑・一般質問）
19日(金)	委員会審査
22日(月)	本会議（討論・採決）

※日程は変更することがあります。

議会広報委員会

【委員長】高 誠 【副委員長】稲端 明浩
【委員】荒木 博文 喜成 清恵 大桑 初枝
小林 誠